

会員増強のための活性化会議 グループワーク資料

(配布資料①)

地域薬剤師会名： 越谷市薬剤師会

地域薬剤師会代表者名： 高橋 修

① 数値目標

- 現会員数：A 会員 84 名 B 会員 20 名
 - 目標会員数：A 会員（+9.41%）： 92 名 B 会員（+11%）： 22 名
-

② 具体策（3 項目）

■施策①（すぐできること）

内容：非会員（地薬会員だが県薬・日薬非会員も含む）への価値（メリット）の周知

非会員（地薬会員だが県薬・日薬非会員も含む）の把握。DMの送付名簿作成。

地薬、埼薬、日薬、連盟へ各々入会した場合のメリットを紹介する資料を作成し、入

会案内と共に送付する。

開始時期： 7 月

■施策②（少し頑張ればできること）

内容：委員会再編

6月の理事会にて委員長・副委員長は決定済み。委員の再編を行い薬剤師会への理解・活動をする方を増やす。

開始時期： 7 月

■施策③（新しい挑戦）

内容：新しい価値（メリット）の創出

地域に貢献できる機会を増やしていく。非会員との信頼関係を作る。

現在、行政の地域医療課と定例会議を設けており、その場に保健所の担当者の参加も要請している。より連携を強化して、薬剤師の活用により職能を発揮できる機会を増やしていく。

開始時期： 6 月

③ 想定される課題（任意）

地域薬剤師会には入会するが、県薬・日薬には入会しない可能性がある。

④ 埼玉県薬剤師会への支援要望（任意）

・県薬・日薬に入る価値（メリット）を明確かつ強化してもらいたい。
・県薬・日薬への入会金について、入会キャンペーンなどを行い、入会金減額や減免などを行い、入会しやすい環境を作っていただきたい。
日薬・県薬・地薬において、一括でキャンペーンを行うことで、かなりの大きなインパクトがあると思う。